

H28 ツヤアオカメムシ フェロモントラップ

集合フェロモンを利用して発生量を調査しています。誘殺虫数が平年より増加した場合、果樹園への成虫飛来が多く、吸汁被害が発生することがあります。

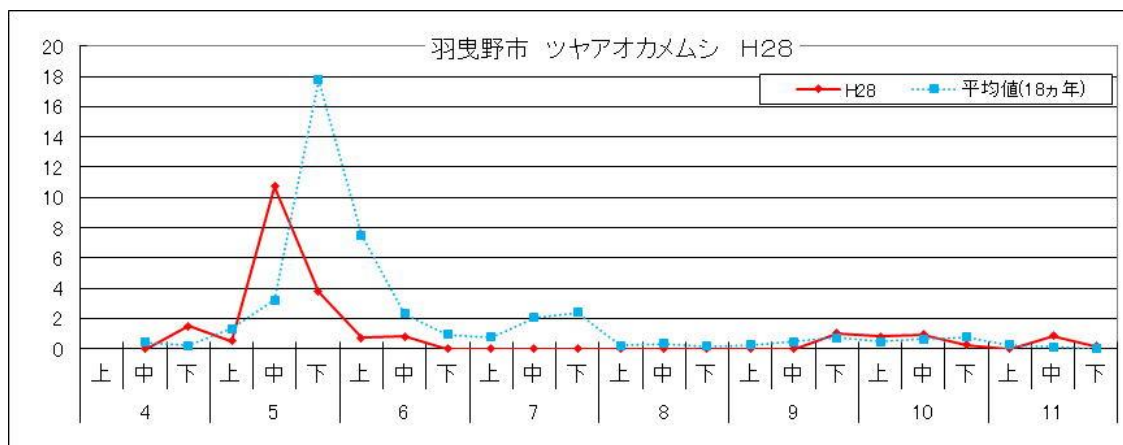
加害作物：もも、うめ、かき、発生量が多い場合にはぶどう、みかんなど

調査地点：羽曳野市、河内長野市、岸和田市

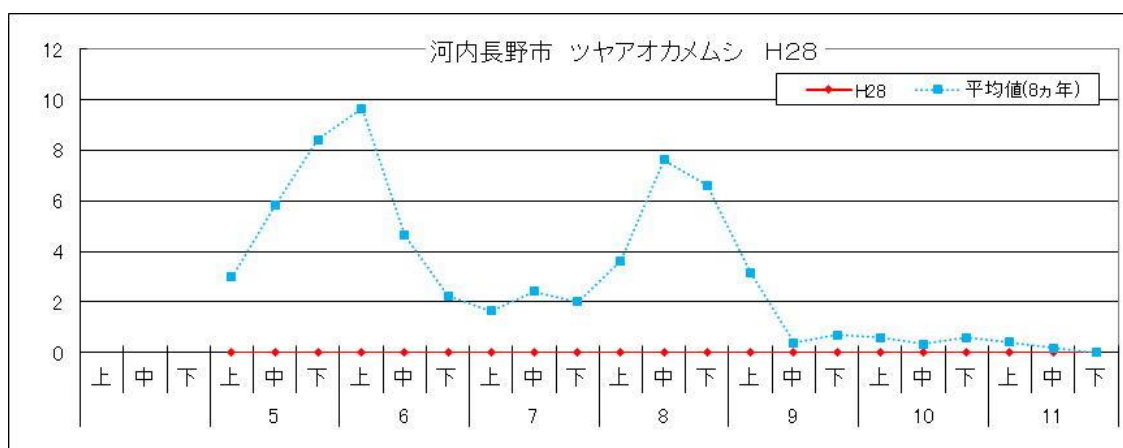
※平成28年度は羽曳野市以外は5月より計測

誘殺虫数(旬別)

羽曳野市 H28. 11. 30 現在



河内長野市 H28. 11. 22 現在



岸和田市 H28. 11. 29 現在

